こなやの
ものおき、
いたずらもの
こねずみ
すんで おりました。
よんで、
「ししゃ」しよう。

「こなやのこねずみ」
読み取り・視写・助詞
6224 ©Adeamland

1)声を出してしっかり読ませ、内容を説明させる。
話し手はどんな人だろう。どんないたずらかな、など。
2)虫食いになっているくっつきの「に」と「が」を補完して
読み、全文をマスに視写(見て書くことと教える)させる。
3)助詞が難しい場合は「どこに住んでいるの」とヒント聞き。

a)読解と、短い話から「小さな物語」を感じ取る練習。
b)「助詞「に・が」の意識化。
c)視写。文字を連ねて文を綴る練習。
分かち書きは、入門期の読みの一時的な便宜にはなるが、書きにはむしろ負担となる。

Date ／
Note
評 □